

社長メッセージ

2025年4月1日（火）



■新年度スタート

皆様、おはようございます。いよいよ新年度・2026年3月期（第34期）がスタートします。これほどワクワクした気持ちで新年度を迎えるのは、会社を創業して以来かもしれません。当社創業時の「21世紀の北浜銀行を創る」という想いを本当に実現するため、本社を北浜に移転し、昨年7月1日に『北浜キャピタルパートナーズ株式会社』に商号変更しました。

世界はドンドン変化しています。既にAIの活用が拡がり、車の自動運転化も増えてきました。わずかこの二つの事象を考えるだけでも、データセンターと電力の需要は圧倒的に増加していくでしょう。そこで当社は、三重県伊賀市に27万㎡の広大なデータセンター用地（忍者エネルギー）への投資を行い、データセンター事業を開始。また太陽光発電所や蓄電所システム等の構築により電力を確保して電力事業を展開し、脱炭素社会を見据えてカーボンクレジット事業への布石とすべく、熊本県五木村の公募面積約186ha(実測は約1,300ha)の広大な山林を取得して山林事業にも進出しました。

さらに、2030年にはIT人材・AI人材が約60万人不足するとされている（内閣府データ）

ことから、次世代 IT 人材育成プログラム「TECHLETE（テックリート）ソリューション」を開発し、教育機関向けに提供を開始しています。その第一歩として、宮崎県の延岡学園と提携し、来年 4 月から高校生ホワイトハッカーやデータアナリストなどの IT 人材を育成する新しい情報科を同学園内に設立する運びとなりました。

その他、従来から当社が進めていた不動産事業や不動産証券化事業をさらに強化するため、TOKYO PRO Market に上場していた No.1 都市開発株式会社を連結子会社化する予定です。

■広がる事業領域

データセンター事業では、井上信二先生（元 NTT 最高技術顧問）と益子信郎先生（元情報通信研究機構〔NICT〕理事）を顧問に迎え、ご指導をいただきながら、台湾のデータサーバーシステム製造会社 Ablecom Technology Inc. と提携しました。同社は、半導体メーカーとして世界的に有名な NVIDIA 社や米国 Super Micro 社とも長年の深い良好な取引関係を築いています。Ablecom のデータセンターシステムには NVIDIA 製の GPU と Super Micro 製の基盤等製品が搭載され、通常約 1 年かかる納期を約 8 週間という短期で実現できるのが大きな強みです。

電力事業では、太陽光発電所の開発を始めるとともに蓄電所の構築を計画し、世界をリードする水素ソリューションプロバイダーである Hydrexia Holding Limited 社と MOU を締結しています。

山林事業は、先月から伐採作業が始まり、今期から売上計上がスタート予定です。

また「TECHLETE（テックリート）ソリューション」事業は、延岡学園との協働作業によってカリキュラム等が着々と整備され、6 月の本申請後に正式な新学科設立の許可が下りるのを心待ちにしている状況です。この新学科で学んだ IT 人材・AI 人材が将来、当社のデータセンターで力を発揮してくれることを大いに期待しています。当社のデータセンターには、最先端のデータセンターシステムだけでなく、その運用・管理を担う IT 人材・AI 人材も揃っているとすれば、大きな強みを備えた事業に成長すると確信しています。

不動産事業・不動産証券化事業の中核を担うことを期待している No.1 都市開発は、「収まるくん」ブランドで運営するレンタル倉庫事業において、その室数が全国 20 位、広島県内 1 位の規模を誇ります。当社が持つネットワークを活かして全国展開を図ることで、同社の事業規模をさらに拡大できる見込みです。同社を連結子会社化することで、当社の連結業績も一層拡大していくと期待しております。

■さらに広く、わかりやすく伝えるために

新年度の始まりにあたり、ここまで当社の取り組みの概要を簡単にご説明しました。

株主の皆様からは、会社発表の IR 文書や PR 文書が「わかりにくい」とのお叱りをいただくことがしばしばあります。正確性が求められる性質上、どうしても文章が固くなりがちで、結果として当社の活動を十分にお伝えできていない面があると感じていました。

そこで、株主の方々はもちろん、より多くの方々に当社の活動を知っていただくため、この社長メッセージを強化し、社長直轄の広報チームを新たに立ち上げることにしました。今まで以上に言葉を尽くして発信していかなければならないという強い決意こそが、広報チームを新たに立ち上げた背景です。SNS を含め、多様なメディアや機会を通じて、私たちの挑戦やビジョンをより広く伝えていきたいと思っています。この一環として、初めて X (旧ツイッター) の公式アカウントを開設しました。今後も、当社の取り組みをわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

■結びに

世界はドンドン変化していますが、当社もドンドン変化していきます。社員一同、一丸となって前進してまいりますので、どうぞこれからの北浜キャピタルパートナーズ株式会社にご期待ください。

代表取締役社長 前田 健晴